

◎歴史・文化

氏名	四辻秀紀	専門分野	美術史
所属	経営学部経営学科・特別教授		
講座タイトル	絵画化された『源氏物語』をたどる		
【内容】			
11世紀初頭に紫式部によって著された『源氏物語』の絵画化は、原作が生み出されて以降各時代を通じて試みられ「源氏絵」というジャンルを形成してきた。現存最古の国宝「源氏物語絵巻」を中心に、描き継がれてきた「源氏絵」の歴史を紐解く。			

氏名	四辻秀紀	専門分野	美術史
所属	経営学部経営学科・特別教授		
講座タイトル	平安時代のかな古筆の伝流		
【内容】			
漢字を省略化・簡略化して生み出され、展開した「かな」は、わが国独自の文字である。各文字を連続させて書く連綿体を用いながら、墨線の美しさを充分に発揮させ、流麗で表情豊かな洗練された美の世界を完成させた平安時代のかなの歴史をたどる。			

氏名	四辻秀紀	専門分野	美術史
所属	経営学部経営学科・特別教授		
講座タイトル	尾張徳川家伝来の名宝		
【内容】			
江戸時代には、御三家筆頭として将軍家に次ぐ家格を誇った尾張徳川家に伝来した、さまざまな名品が、現在名古屋市にある徳川美術館に収蔵され展示公開されている。これらの作品を紹介しつつ、その本質を探っていく。			

氏名	四辻秀紀	専門分野	美術史
所属	経営学部経営学科・特別教授		
講座タイトル	徳川家康の遺産 —駿府御分物—		
【内容】			
徳川家康が1616年に駿河城で歿した後、その膨大な遺産の大半は、御三家に分与された。これを「駿府御分物」と呼び、内容は金銀の道具・刀剣・武具甲冑・茶の湯道具・能道具・衣服・調度品など多彩である。現存する遺品を通じて、家康像を探求する。			